

# 図書館だより

第4号 令和3年1月29日(金)発行

島根県立隠岐高等学校 図書館

貸出冊数 2冊まで

貸出期間 2週間

## 目標を叶えるために

2021年が始まりました。今年もコロナ対応から始まりましたが、みなさんはどんな年にしたいなと思っていますか。何か新しいことに挑戦したい、コロナに負けず健康第一で過ごしたい、学校生活や部活動を充実させたいなどそれぞれが思い描いた目標を叶えられる一年にしましょう。みなさんの目標を叶える手助けとなる本を探しに図書館にも足を運んでください。

今年もいろいろな本を紹介しながら、楽しんでもらえる図書館でありたいと思っています。3年生のみなさんには悔いの残らないよう、卒業までに1冊でも多くの本に親しんでください。



## ◎図書館展示

現在図書館に3年商業科の作品「夏目漱石『こころ』を紹介するポスター」と「こころを何かにたとえよう」が展示されています。現代文で学習した内容を作品にしたものです。是非、見に来てください。

夏目漱石『こころ』  
を紹介するポスター



萩原朔太郎の詩『こころ』  
「こころをばなににたとへん」



## ◎図書委員おすすめの本 先月のクリスマスフェアで紹介した図書です。

### ★『源氏物語』 阿部秋生 他 著

千年経っても変わらない、人が生きることの喜び、悲しみ、幸せ、不幸せ、その全ての機微が描かれたとても面白い作品です。

### ★『あるかしら書店』 ヨシタケシンスケ 著

この本は、本を読むことが苦手な人でも楽しめる一冊になっています。私とツボが一緒の人は絶対楽しめると思うので、是非、読んでみてください。絵がかわいいところも point です。

### ★『コンビニ人間』 村田沙耶香 著

36歳未婚、彼氏なし。コンビニのバイト歴18年の古倉恵子。日々コンビニ食を食べる夢の中でもレジを打ち、「店員」でいる時のみ世界の歯車になれる…。

### ★『「国語」から旅立って』 温又柔 著

言葉、国、そして自分自身。堅く結びついていると思い込んでいた。それぞれの境界線を揺さぶる温さんの言葉、人々と言葉が行き交うボーダーレスな時代にお互いを認めあって抱きしめ合うためのヒントが散りばめられた本です。

### ★『大家さんと僕』 矢部太郎 著

お笑い芸人の矢部さんと、矢部さんの引っ越し先の大家さんとのどこか面白く、ほっこりした4コマ漫画です。



★『ぼくたちと駐在さんの700日戦争』 ママチャリ 著

田舎町に住むヤンチャでムチャな男子高校生と町の駐在さんが繰り広げるイタズラ合戦！  
おバカで、笑えて、熱くて、泣ける！ 皆さんもこれを読んで寒さを吹き飛ばしましょう！



◎こんな本もありますよ！

『定家「明月記」の物語』

～書き留められた中世～ 稲村榮一 著

定家の記した難解な『明月記』を身近における  
労作です。著者は第31代の本校の校長先生です。

『山陰沖の幕末維新動乱』

大西俊輝 著

「隠岐は山陰沖の遙かな海原の果てにある。」  
から始まります。著者は本校昭和40年卒業生です。

◎新着図書紹介



『教室に並んだ背表紙』 相沢沙呼 著

寂しくて、迷ってしまった時は“物語”を読んで…。

図書室を舞台に、“読書”との出会いで変わっていく少女たちの心模様  
を描く、全六編の連作短編集です。



『とわの庭』 小川 糸 著

帰って来ない母を〈とわ〉は1人で待ち続ける。何があっても、前を  
向いて生きる。草木や花々、鳥の声。生命の力に支えられ、光に守られて  
生き抜く〈とわ〉の物語です。



『こどもホスピスの奇跡』 石井光太 著

～してあげたいと思うことは、すべてできました～

すべては病の子どもと家族のために…。

親が、医師が、保育士が、IT起業家が立ち上がった！ 大阪「TSRUMI  
こどもホスピス」誕生から日々の奮闘まで、感動の記録です。



『「鬼滅の刃」の折れない心をつくる言葉』 藤寺郁光 著

頑張れ!! 人は心が原動力だから心はどこまでも強くなれる!!

自信・覚悟・絆、人生で大事なことはすべて『鬼滅の刃』が教えて  
くれた。人気漫画の名言を1冊に！

本の返却をお願いします。

- 未返却の本が手元にありましたら、図書館の  
返却ボックスか購入前の返却ボックスに入  
れてください。
- 期間を延長したい時は、申し出てください。

○「読書は一人のようで一人ではない。本を書いている人との二人の時間である。」

【齋藤孝 『読書力』】

○「全て形式に流れると精神が乏しくなる。何でも日々新にという心がけが大事である。」

【渋沢栄一 (1840-1931)】